

empowerment PEPNet-Japan  
日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク

研修③支援の依頼を体験しよう！  
「周りの人に協力を依頼してみよう！  
(ロールプレイ)」



1

empowerment PEPNet-Japan  
日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク

研修の流れ

- ①ロールプレイの場面について説明
- ②この場でどうしたらいいか？グループで話し合う。ロールプレイに出る人を決める(5分)
- ③ロールプレイをやってみる(各グループ5分)
- ④モデルの提示(5分)
- ⑤問題点・改善方法の検討(10分)
- ⑥まとめ

2

empowerment PEPNet-Japan  
日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク

ロールプレイの場面

- ①山田さん(聴覚障害あり)は建築関係の準大手企業札幌支店に就職。1ヶ月間の新人研修を終えて、福利厚生<sup>(※)</sup>を担当する部門に配属された。
- ②今日は配属後初めての定例会議に参加。定例会は毎回30分程度で行っている。

(※)福利厚生とは、従業員とその家族の幸福に寄与し、生活を充実させるために設ける制度のこと。

3

empowerment PEPNet-Japan  
日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク

ロールプレイの場面

- ③山田さんに聴覚障害があることは伝わっており、この1週間の業務も筆談と口話で対応している。
- ④山田さんは、係長に「会議の進め方について、皆さんにお願いしたいことがある」と事前に伝えてあり、5分時間をもらっている。
- ⑤議題に関する資料は配布されていて、山田さん以外はすでに席に着いている。

4

empowerment PEPNet-Japan  
日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク

ロールプレイの場面

⑥会議に出席するメンバーは以下の通り。

- 社員A 係長。今回の会議では1番偉い人。
- 社員B 主任。入社8年目の中堅社員。今回の会議で1番話をする人。まとめ役。
- 社員C 入社5年目の先輩。入社した時から福利厚生を担当しているベテラン。全盲。
- 社員D 入社3年目。新人の教育担当をしている。
- 社員E 入社2年目。今回は議事録作成を担当。

5

empowerment PEPNet-Japan  
日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク

皆さんに伝えて欲しいこと

- ・会議でどのような配慮をして欲しいのか？
- ・その配慮は具体的にどんなこと？
- ・自分が会議に参加するために一番良い環境は？

6

empowerment PEPNet-Japan  
日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク

**作戦タイム！（5分間）** 

新人の山田さん役でロールプレイに出る担当者も決めて下さい。

7

empowerment PEPNet-Japan  
日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク

**モデルを見てみましょう**

- ・実際に企業で働いている方はどんな対応をするのか、見てみましょう。
- ・自分たちが気付かなかった点、今後に生かしたい点を見つけましょう。

8

empowerment PEPNet-Japan  
日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク

 **ポイント**

- ・あなたがどんな配慮を望んでいるのか、周りの方に伝わったと思いますか？
- ・依頼をされた人たちは、その依頼をどのように受け止めたでしょう？

9

empowerment PEPNet-Japan  
日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク

 **まとめ**

- ・会社の同僚は支援者ではありません。同じ仕事をするために、自分に必要な情報は積極的に取りに行くようにしましょう。
- ・「配慮して欲しい」と言われても、具体的にどうしたらいいのかが分からないのです。
- ・自分に必要なサポートを”具体的に”伝える練習を、在学中に重ねてみて下さい。

10

empowerment PEPNet-Japan  
日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク

- ・本スライドは、以下の研修会のために講師が作成した教材を元に、一部修正の上使用したものです。
- ・本教材の著作権はPEPNet-Japanに帰属しています。

日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク(PEPNet-Japan)  
「平成25年度 聴覚障害学生エンパワメント研修会」

研修③支援の依頼を体験しよう！  
「周囲の人に協力を依頼してみよう！  
(ロールプレイ)」

講師：磯田恭子(筑波技術大学)  
協力：井上寿枝(札幌学院大学)、竹下欣吾(北海道大学)  
山本恵理(株式会社アイワード[印刷会社])

11